

### 第3回 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会 議事要旨

日時：平成30年8月22日（水曜） 15：00～17：00

場所：市役所4号館1階 本部員会議室

#### 議事内容

##### 新・神戸文化ホールのミッションについて

- 提示されたミッションについて、かなり包括的に書かれているが、「社会包摂」などという単語は一般の方には意図している意味が伝わりにくいだろう。「社会包摂」が具体的に示すものの例示が必要ではないか。
- 「市民に質の高い舞台芸術作品やその他の多彩な文化芸術体験活動を提供し～」という部分については、鑑賞型の事業が前提となっている。鑑賞と言っても、「買取り型」と「自主制作」がある。どちらを主軸にしているのか。「官民学術機関一体となった先端的な文化芸術の制作・支援システムを構築する」という点と合わせて考えると、買取り型が主軸ではないと読み取れる。世界レベルで発信していけるものを自主制作していくならば、市に大きな決意がなければならぬ。何よりも費用がないとできない。また、それを達成できる人材が必要になる。
- 今はソフトとハードの話が混じって議論されているが、ソフトを強化していくということハードにも組み込んでいき、ソフト・ハードの2本柱としていく。P3、「新・神戸文化ホールが目指す機能・役割」の①～⑥も、ソフトがあつてこそその話である。
- 基本計画にてミッションを定め、そのミッションに従って様々な計画を進めていく。将来的に、皆さんに理解してほしいことをミッションとして示していくべき。
- ミッションと理念は違う。理念があつて、それを達成するための施策があるべきだと思うが、市のビジョンや理念についても議論をすべきではないかと思っている。
- ワーキングでは、「分野を超えた新しい文化芸術の想像」「みなが集まれる場所」ができたらいいいのではという話があつた。音楽や演劇など、様々な分野の方が集まって何かを話したり出来る場所など、分野を超えて新しい芸術を提供できるような場所ができるといいと話していた。それは神戸らしくていいと思う。
- サロンのような場所という意見はワーキングで出ていたが、新しいホールができる前に先行してつくるべきではないかという意見もあつた。P6にて「ジャンルを超えたコラボレーション」と書かれている部分がある。また「P22、今後の検討課題にて、会館前の段階から、地域との交流や意見交換のできる場を常設すること」や「まちを一体的に巻き込んだイベント」とも示している。

## 大ホールについて

---

- 奥行きではなく、実際に演技が可能なアクティング・エリアが 18m×18m はほしい。その広さがきちんと確保できるようにしなければならない。
- 間口 18mはもう少し狭くしても良いのではないか。このホールなら 17m で十分かと思う。
- 要望事項として（搬入用）EV の大きさも書いておいた方が良い。

## 音楽専用ホールについて

---

- 音楽専用ホールにすることで、現在の文化ホールの稼働日数が担保、もしくはそれ以上の稼働は期待できるのか。また、なぜ多目的ではなく音楽専用ホールなのかを今一度整理しておきたい。
- 音楽専用ホールにした場合でも集会等での利用は可能なのか。
- 敷地を考えると、多目的ホールにするにはかなり面積的な制限が生じる可能性が高いということがある。
- 良質な音楽に特化したホールが神戸にほとんどない。また、かなりレベルの高い活動をしている混声合唱団・室内管弦楽団のホームグラウンドになる場所が必要ではないかという議論もあり、音楽専用ホールという方針になった。
- 音楽に特化するためには、かなり長い残響音が出るように音響設計をしなければならない。集会等の利用でスピーカーから音をだしても、かなり聞き取りにくいホールになる。できるだけシンプルに音楽ホールを狙ったほうがいいのではないかという結論である。
- 混声・室内という神戸が何十年間も持ってきた宝を活かすために何が一番適切かと考えた場合、中ホールを質の高い音楽ホールにすることが資源を最大に活かすためにベストだと考えている。
- 逆にいま中央区に新たに整備するホール機能と位置づけているところの客席を増やして、演劇や集会にも対応できないかという意見がでている。あまり「音楽ホールでも集会ができる」と言ってしまうと将来的に誤解を招く可能性がある。
- ご心配をされているのは、音楽専用ホールにしたときに本当に利用されるかということだろう。それにはホール機能はもちろんのこと、組織のあり方もしっかりと考え、きちんと利用できる仕組みを考えていかねばならない。
- 席数については、現在の中ホール程度は必要ではないかと思う。
- 音楽専用ホールにするならば、吹奏楽コンクールなどでの利用を誘致できるような機能を備えるべき。

## その他の機能について

### 設計デザイン

- 大、中、中央区に新たに整備するホールともに全て前方に舞台がある四角い形の劇場になるのであれば見分けがつかない。全体の面積の関係もあるが、舞台やホワイエの形状でそれぞれのホールに個性が出るように考えていきたい。
- 3つのホールの雰囲気が違ったものになるように設計してほしいというのほどこかに書いてもいいかもしれない。

### ロビー・ホワイエ

- 良い音楽を楽しんでも、終演後の動線が悪く EV までが進まない等の障害があると、せっかくの余韻が潰される。やはりホワイエも十分なスペースをとってほしい
- また女性用のトイレはクオリティの高いものにしていただきたい。
- ホワイエにバーカウンターなど、音楽を楽しめる空間を備えてほしい。
- 簡易的なコンサートや、例えば若手演奏家のミニコンサート等ができる場所があると良い。

### 楽屋まわり

- 楽屋は、可能な限り舞台面と同一階に整備していただきたい。
- 中央区に新たに整備するホールの楽屋について、今は個室楽屋を設けることが増えてきているので、個室にできるような楽屋があると良い。
- 舞台の近くにトイレを作っていただきたい。子どもたちの出演が多い舞台だと、舞台裏近くにトイレがあったほうが便利である。
- ケータリングコーナーとモニターが舞台裏の中央にあると理想的。

### 多目的室（親子室）

- 多目的室・親子室が複数つくれるならば、他にはない機能として売りだせると思うので工夫ができないか。
- 演者側として託児室を用意したことがあるが、スペースが少ない。実際にやったときには別室を託児の場所としていた。事務所スペースに貸会議室のようなものがあるならそういう場所が活用できないか。